






でじまの木

社会医療法人 春回会
出鳥病院
DEJIMA HOSPITAL



Contents

-  コロナ禍でもあきらめたくない当院での取り組み紹介…………… 2～3
-  シリーズ在宅支援VOL.2 「緩和看護外来」「リハビリでの評価」 …………… 3
-  新人紹介 …………… 4
-  栄養課紹介 …………… 4
-  地域医療連携室 2020年度実績報告 …………… 5



デジマノキ

「デジマノキ」は幕末の頃、オランダ人がインドネシアから移植した日蘭交流の貴重な記念樹です。日本では唯一ここだけに生息する木で県指定の天然記念物として、今も出鳥病院発祥の地に、およそ150年の時を超える命をつないでいます。

コロナ禍でもあきらめたくない

当院での取り組み紹介



昨年4月から、新型コロナウイルスの流行により、感染対策強化のため、面会をはじめ様々なことにおいて制限を余儀なくされました。そんな中でも、少しでも患者さん・ご家族が安心して過ごせるように、できることを形にした活動の一部をご紹介します。

窓越しやオンラインでの面会

県外在住のご家族、小さなお孫さんなど、面会制限によって対面での面会が難しい場合であっても、少しでもご家族との時間を過ごしていただきたい。そんな思いで、窓越し面会やオンラインでの面会を行っています。実際にお顔を見て話ができるので、非常に喜ばれています。



ペットとの面会

ペットも家族の一員です!!ゲージに入る大きさであれば面会を許可しています。



Zoomを活用☆

家屋調査



普段は、退院の前にスタッフが直接ご自宅へ伺い、ご家族と一緒に環境の確認・調整を行いますが、それも困難に…。そこで、ご家族にご自宅の写真を撮ってきていただいたり、ご自宅とZoomでつなぎ、ご自宅の環境を確認をさせていただきました。

カンファレンス

自宅療養される患者さんの支援のために、在宅サービス提供スタッフとの多職種連携は必須です。対面でのカンファレンスが困難な中Zoomで各施設をつなぎ、顔を見ながらの連携を行っています。

県立大学 成人看護学緩和ケア実習

臨床実習も中止に。でもZOOMで開催！(2020年10月～2021年3月まで63名)

全人的苦痛の視点から事例を分析し、カンファレンスを実施。また、麻薬管理や皮下点滴の方法、多職種カンファレンスの様子は動画に撮って見てもらいました。最後は認定看護師から「心に残った看護」を語ってもらい、ケアの難しさや看護のすばらしさをお伝えすることができたと思います。



誕生日会でも活用☆

訪問の患者さんの誕生日会

患者さんの家に集まることはできませんが、訪問リハの日に自宅と各施設をZoomでつなぎ、訪問しているスタッフ、入院中に関わったスタッフが各施設からみんなでお祝い☆歌をプレゼント☆とても喜んでいただきました。



季節感を出して☆

院内の飾りつけ



普段積極的に行っている水辺の森や出島周辺などへお散歩、季節のイベントもできなくなり、季節感を感じたり気分転換がしにくくなったため、病院の中を飾りつけ、気分転換を図りました。



シリーズ 在宅支援 Vol.2

「緩和看護外来」「リハビリでの評価」

緩和外来では、診察の他に認定看護師による緩和看護外来、また、理学療法士や作業療法士が身体機能評価を行い、診察だけでは見えてこないお体やお気持ちの変化の把握を行い、診察の補助としています。

＜緩和看護外来＞

緩和ケア認定看護師



STAS-Jを用いて、症状の評価を実施。

身体症状や生活状況、ご希望や困っていることなどを把握した上で、ご本人・ご家族の気持ちの変化やつらさに寄り添いながらケアの方法や在宅サービスなどについても提案していきます。

＜身体機能評価＞

リハビリスタッフ(OT・PT)



SPPB+握力を評価 *5分程度
(バランス、歩行、起立)

身体機能の変化や自宅での生活で困っていることや希望がないかも確認します。SPPB(12点満点)が10点を下回ると1か月以内の入院の可能性があります。身体機能の変化を見ながら、必要に応じて訪問リハや外来リハを提案していきます。

＜家屋調査＞

リハスタッフ + 外来看護師

家屋環境に加え、生活状況や希望など確認。人生会議の一部。

ご自宅では、診察では話しにくい本当の気持ち(つらさや希望など)を話してくださることが多いので、今後の療養について思いを聴かせていただいています。

最近は、初回外来時に家屋調査の提案を行っています。外来早期(まだ身体機能が保たれている時)からご自宅の状況を把握できていることで、その後症状の変化があった時に、必要な在宅サービスの検討や提案がしやすくなります。



新人スタッフからの **ひとごと** Message



看護師 ^{くが} 空閑 ^{かくこ} 香久子

空っぽなので、みなさまの力をお借りして、うめていきたいと思っております。



放射線技師 ^{ありた} 有田 ^{けんいち} 健一

患者様に苦痛が少なく安心して検査を受けて頂けるように努力していきたい。



調理員 ^{かわい} 川井 ^{りえ} 理恵

患者さんに喜んでもらえるような食事を作れるようにがんばります。



調理師 ^{せざき} 瀬崎 ^{じゅり} 樹里

患者さんに食事を楽しく食べていただくため、美味しく、丁寧な料理を作りたいです。

栄養課紹介



現在、出島病院栄養課では管理栄養士2名、調理スタッフ7名(調理師3名、調理員1名、調理パート3名)の計9名で食事の提供をしています。

毎日、厨房スタッフが削り節や昆布、煮干しからしっかり出汁を取った清汁や味噌汁、豚骨や鶏ガラを野菜と一緒に煮出して作った洋風スープは患者様にもとても好評です。

そして、フレッシュな職員も新たに加わり、より一層患者様に楽しんで頂ける食事の提供を出来るよう行事食や手作りデザートなどにも力を入れたメニュー改善も行っています。

また、患者様に寄り添い希望に沿った食事の提供が出来るよう管理栄養士へのご相談もいつでも受け付けております。



地域医療連携室 2020年度実績報告



今回はQ&Aではなく、2020年度の地域医療連携室の実績報告を行います。

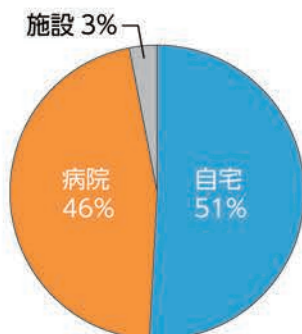
緩和ケア病棟への入院には、必ず緩和面談を実施していますが、新型コロナウイルスの影響で対面での緩和面談が実施できない時期がありました。感染拡大期には電話

による面談やZoomを使用したオンライン面談を行いました。また、当院では本人、家族の希望に応じて退院支援も行っており、約3割が自宅等に退院しています。退院時に必要な退院前カンファレンスもオンラインで行い、新たな業務形態が定着しつつあります。

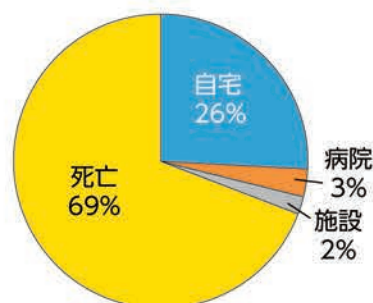
コロナ禍であっても、「自宅で過ごしたい」「家族と面会したい」という本人、家族の希望をどのように実現するのか、緩和ケア病棟だからできることを常に考えていく必要があります。

緩和面談数	対面	300
	電話・Zoom	76
入院数		330
退院数		333
退院前カンファレンス実施数		17

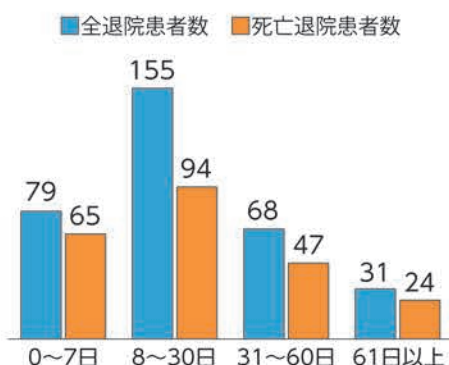
入院経路内訳



退院先内訳



在棟日数別退院患者数



面談の予約・緩和ケア病棟に関するご相談は



出島病院 地域連携室(平山・向原・犬塚)までお願いいたします。

TEL:095-822-2294(直通)
FAX:095-895-5516

病院理念

すべては患者様とご家族のために
～ 寄り添い、共に、よりよく、その人らしく～

病院 基本方針

1. 全てのいたみを癒す緩和医療を提供します
2. チーム医療を実践しQOL(生活の質)の向上に努めます
3. 安心と満足の医療を提供します
4. 向上に励み、謙虚な心で質の高い医療を提供します
5. 喜びと誇りを持てる病院を目指します

フロアガイド

7F	コインランドリー・物干し場
6F	10床(個室8室、2人部屋1室)
5F	10床(個室6室、2人部屋2室)
4F	9床(個室5室、4人部屋1室)
3F	8床(個室3室、2人部屋1室、 3人部屋1室)・厨房
2F	画像診断室・事務室・医局・検査室
1F	外来診察室・地域医療連携室・受付・薬局 医事課・会議室



日本医療機能評価認定病院
【3rdG : Ver.1.1】

社会医療法人 春回会
出島病院
DEJIMA HOSPITAL

〒850-0862 長崎市出島町12番23号

TEL (095)822-2323 (代表)

FAX (095)822-8855

ホームページ <http://www.shunkaikai.jp>

エリアマップ



病院までのアクセス

- JR長崎駅より出島電停まで電車で5分
- 出島電停より徒歩3分
- 出島道路出入り口より車で2分